

化学系 化学コース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

化学系では、広く物質の関わるさまざまな現象に知的な好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・ 広く物質の関わるさまざまな現象に好奇心と探求心を有している
- ・ 化学の基本的な概念や考え方を身に付けている
- ・ 論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・ さまざまな事象を原子・分子レベルで探求し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している
- ・ 専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

化学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、化学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 化学分野の専門基礎学習

選択必修科目として、物理化学基礎特論・有機化学特論・無機・分析化学特論による広く化学全般の基盤的な重要事項の学修

B) 化学分野の応用学習

豊富な専門選択科目による化学のさまざまな分野のより専門的な内容を学ぶ学修

C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

学生自らが研究に主体的に取り組み、課題解決のための力を身に付けることができるようにするための基本的な力を身に付けるため、研究室で行う学修

D) 化学安全学習

化学実験の実施に必須の安全に関する事項と環境保全に関する学修

E) コミュニケーション能力の強化学習

修士研究の論文作成に要求される文書化力と成果発表力の養成学修

化学系 化学コース（修士課程）

ディグリー・ポリシー（修得する力）

化学コースでは、次のような力を修得することができる。

- 物質科学に関わる多方面の知見を理解するのに必要な基盤的な専門学力
- 物質に関する高度な専門学力に基づく実践的な問題解決力
- 新たな課題に主体的に取り組み、化学の深奥を究めようとする探求力
- 多様な考え方をまとめて新たな方向性を見出す力
- 国際的に通用するコミュニケーション力